

施工説明書

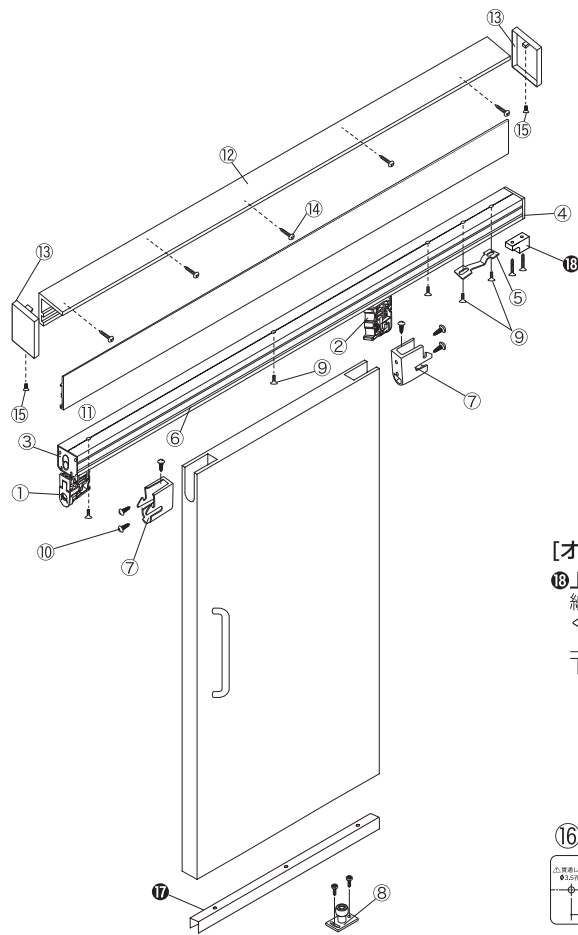


RoomCloser ルームクローザー RCC-O アウトセット・幕板タイプ(オーダーカット) RCC-OT アウトセット・幕板タイプ(定尺)

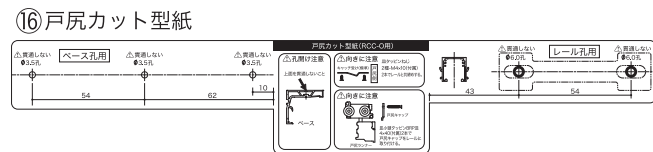
建具仕様

- 木製片引戸
- 重量 30kg以下 (推奨15kg以上)
- 戸厚 28 ~ 36mm
- 戸幅 640mm以上 ストローク1,200mm以下

部品構成

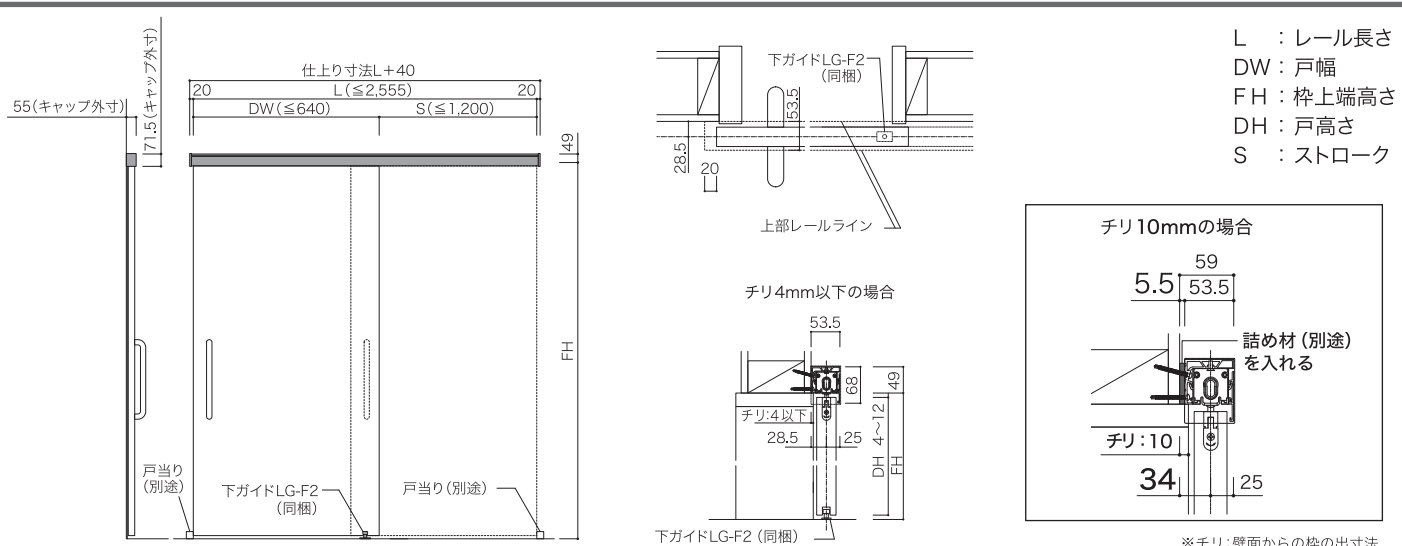


【オプション】
 ⑩上部戸当り(戸尻側)について
 納まりにより必要な場合にご使用
 ください。
 上レール内へ後付けできます。
 下部戸当りは別途ご用意ください。

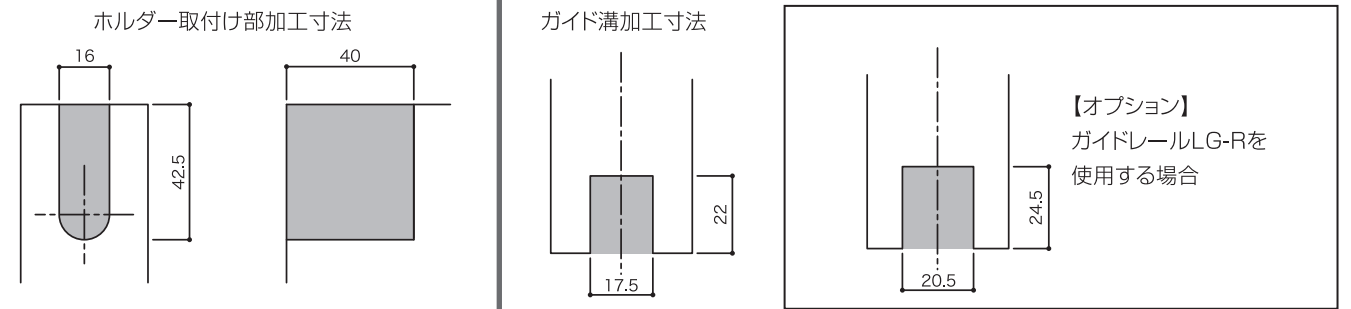


名称	数量
① 戸先ランナー	1
② 戸尻ランナー	1
③ 戸先キャップ(ステンレス、ゴム)	1
④ 戸尻キャップ(スチール)	1
⑤ キャッチ受け	1
⑥ 上レール【ユニット】	1
⑦ ホルダー	2
⑧ 下ガイド LG-F2 【付属ねじ: +六角タッピンM4×25 2本】	1
⑨ 上レール取付けねじ 【低頭+皿タッピン2種M4×10】	9
⑩ ホルダー取付けねじ 【+ナベタッピンM4×30(GB色)】	6
⑪ 幕板	1
⑫ レールベース	1
⑬ レールキャップ(左・右)	2
⑭ レールベース取付けねじ 【+ナベピアスM4×40】	10
⑮ レールキャップ取付けねじ 【+ナベタッピンM4×8】	2
⑯ 戸尻カット型紙	1
オプション	
⑰ ガイドレールLG-R(L=1,350)	1
⑱ 上部戸当たり(戸尻側) 【付属ねじ: +トラスM4×18 2本】	1

参考納まり図 (戸先枠なし)



引戸加工図



ご使用上の注意

- 学校や商業施設などの不特定多数の方が利用される箇所や、過酷な条件下でのご使用はお控えください。
- 屋外や浴室、化学薬品を取り扱う場所でのご使用はお控えください。

⚠ 注意

- 取り付ける枠や壁が変形していると正常に作動しない場合があります。
- 戸は強い力で開閉(急開・急閉)しないでください。
 作動不具合や破損の原因になります。
- レール内に潤滑剤のスプレーや塗布をしないでください。
 埃を吸着して作動不具合の原因になります。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
セルフクローズの途中で止まってしまう	床面か下ガイドに戸の底が擦っていませんか。	戸の上下調整を行ってください。
	ブレーキが強く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
全開時キャッチが機能しない	戸当りの設置位置が、キャッチ受けに干渉していませんか。	戸当りとキャッチ受けの位置調整を行ってください。
ブレーキが掛からない	キャッチ力を最大まで緩めていませんか。	キャッチ力の調整を行ってください。
	ブレーキが弱く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
戸の開閉時に異音がる	戸が幕板や隣接する箇所に擦っていませんか。	隣接するものと擦らないよう、戸の前後調整を行ってください。
	上レール内にゴミや埃が残っていませんか。	レール内の清掃を行ってください。
	ランナーのタイヤにゴミや埃が付着していませんか。	一旦レールを外し、ローラーに付着したゴミや埃を取り除いてください。
	上レールを取り付けているねじの頭が出ていませんか。	ねじの締め直しを行ってください。

製品保証について

保証期間は建物の引渡日から2年間です。
 施工説明書やカタログの記載内容に基づく適正な使用状態で、保証期間内に当社製品に起因する不具合が発生した場合は、無償修理または交換をいたします。
 なお、保証期間内であっても以下に例示する免責事項にあてはまる場合は有償での修理、交換となります。

- 施工の不備に起因する不具合。
- 建具や枠、躯体の変形に起因する不具合。
- 適用箇所以外、および適用サイズを超える建具を使用した場合。
- 使用頻度が高いことによる部品の著しい損耗と、それに伴う作動不具合。
- 異常な高温、低温または多湿の環境下での使用。
- お客様自身による改造、分解、修理に起因する不具合。
- 天災などの不可抗力による不具合。

お問い合わせ先

株式会社SKB

〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3

TEL: 06-6788-1518

FAX: 06-6788-2056 www.sk-net.co.jp

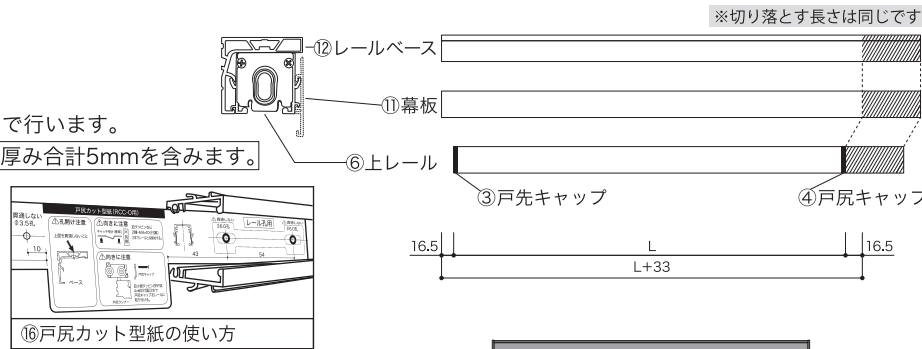
はじめに、戸先側に縦枠がある場合は、別紙をご確認のうえ施工を始めてください。

注意: ①戸先ランナーを1,200mm以上動かさないでください。パネが破損する原因になります。

1 長さカット RCC-OT(定尺)のみ

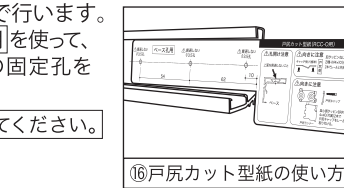
上レールのカット

- 長さLを決定します。(L=全閉戸先~全開戸尻)
- ④戸尻キャップを取外します。
- ⑥上レールをLの長さにカットします。カットは戸尻側で行います。
注意: Lの長さには戸先キャップと戸尻キャップの厚み合計5mmを含みます。
- ⑩戸尻カット型紙の右側、「レール孔用」を使って、⑤キャッチ受けの固定孔φ6.0mmを2ヶ所あけます。
- 切粉や埃を除去します。
- ④戸尻キャップを付け直します。



レールベースと幕板のカット

- ⑥上レールを切り落としたのと同じ寸法をカットします。全長の計算はL+33mmです。
例:上レールを200mm切り落としたら、レールベースと幕板のカット寸法も200mmになります。
- ⑫レールベースは左右勝手が兼用で、カットは戸尻側で行います。
- ⑫レールベースに、⑩戸尻カット型紙の左側、「ベース孔用」を使って、⑤キャッチ受けの固定孔を2ヶ所、⑬レールキャップの固定孔を1ヶ所φ3.5mmをあけます。
注意: 孔がレールベースの上面を貫通しないようにしてください。



2 レールの取付け

レールベースの取付け

⑫レールベースの取付け位置を決め、⑭レールベース取付けねじで壁面に留めます。枠のチリ寸法が4mmを超える場合は、⑫レールベースと壁面の間に合板等の詰め材を入れて調整します。

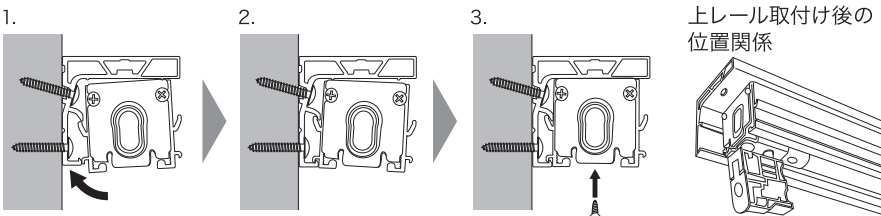
注意:

- レールベースの取付け面には、必ずねじの利く下地が必要です。
- レールベースは必ず水平に、すべての取付け孔を使ってねじ留めてください。
- ねじ頭が浮くと⑥上レールが当たって取付かない場合があります。上側のねじ留めは角度に注意してください。(右図参照)
- 下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。

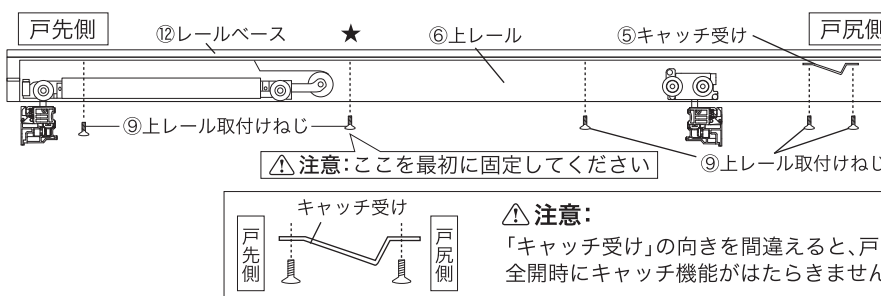


上レールの取付け

- ⑥上レールの爪を⑫レールベースの爪に引っ掛けます。
- 図のような状態で⑥上レールが仮保持され、手を離しても落ちないことを確認します。



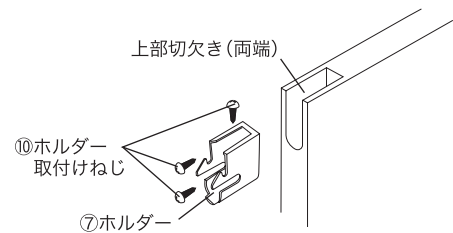
- ★印の箇所⑫レールベースと⑥上レールのねじ孔位置を合わせ、⑨上レール取付けねじで最初に固定します。
注意: 先に他のねじ孔で留めると固定位置がずれます。
- ⑤キャッチ受けを、レールの戸尻側に⑨上レール取付けねじで⑫レールベースへ⑥上レールと共締めします。
- 残っている取付け孔すべてをねじ留めます。



3 吊込み前の準備

ホルダーの取付け

⑦ホルダーを戸の上部切欠きに入れ、⑩ホルダー取付けねじ(各3本)でねじ留めます。



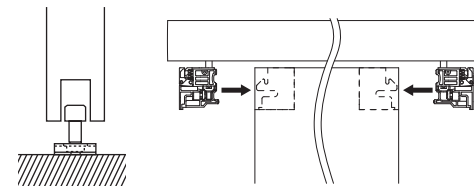
下ガイドの取付け

- ⑧下ガイドの取付け位置を決めます。
- 向きに注意して床に固定します。



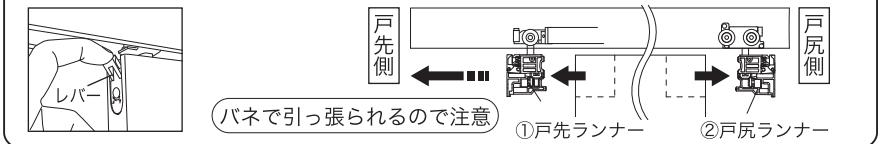
4 戸の吊込み

- 上レール内部の清掃を行います。(ランナー走行面の拭き取り、エアブローでの埃除去。)
- 戸の底面の溝に⑧下ガイドを通してから、①戸先ランナーと②戸尻ランナーを⑦ホルダーにカチッと音が鳴るまではめ込みます。



戸の取外し ①戸先ランナー・②戸尻ランナーのレバーを起こして引き出します。

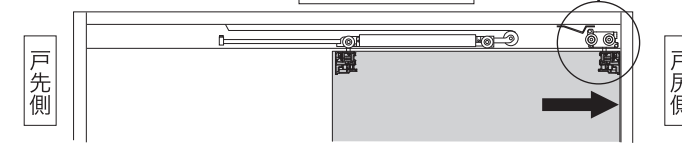
注意: ①戸先ランナーを引き出す際は必ず手を添えておいてください。引き出すと同時にパネで引っ張られますので、縦枠と衝突して破損する恐れがあります。



5 動作確認

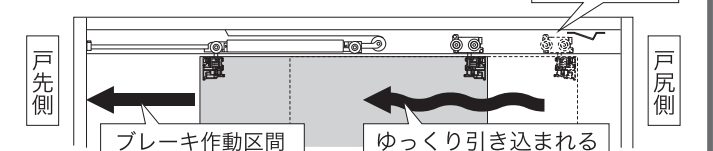
戸を全開にする

戸を全開し、キャッチが掛かって静止するか確認します。



戸を閉じる

全開状態から戸を引き、キャッチを解除したら手を離します。戸が自動で引き込まれ、ブレーキが掛かってから閉まりきることを確認します。

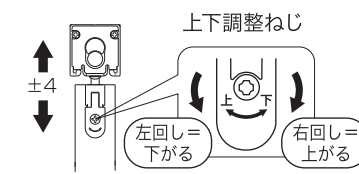


6 各種調整

注意: 各調整時、電動ドライバーは使用しないでください

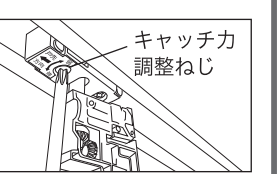
戸の上下調整

上下それぞれ4mmの調整が可能です。①戸先ランナー・②戸尻ランナーの“上下調整ねじ”を回して調整します。



キャッチ力の調整

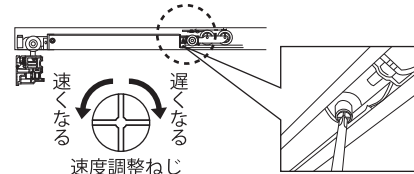
②戸尻ランナーを外し、ランナーの下面にある“キャッチ力調整ねじ”を回して調整します。
※左回し:キャッチ力が強くなる
右回し:キャッチ力が弱くなる



ブレーキ力の調整

ブレーキ作動区間内で戸が閉まる速さを調整できます。

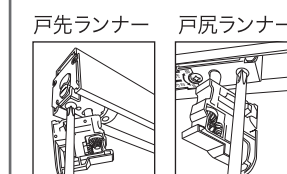
- ①戸先ランナーを外し、ブレーキシリンダーに付いている“速度調整ねじ”を回して調整します。
※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)
右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



戸の前後(奥行き)調整

前後それぞれ1.5mmの調整が可能です

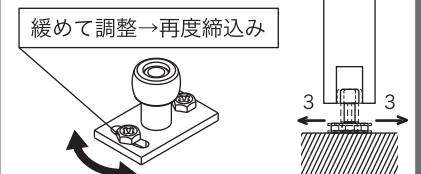
- ①戸先ランナー・②戸尻ランナーを外して下面にある“前後調整ねじ”を緩めます。
- 戸の前後位置を調整します。
- 調整が終わったら、“前後調整ねじ”を締め込みます。



下ガイドの(奥行き)調整

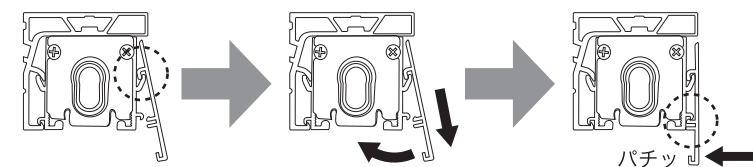
前後それぞれ3mmの調整が可能です

- 固定ねじを緩めます。
- 下ガイドの前後位置を調整します。
- 調整が終わったら、固定ねじを締め込みます。



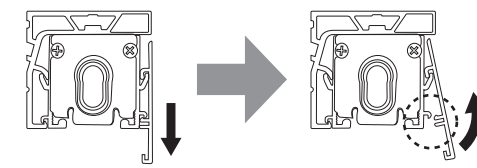
7 幕板の取付け

- ⑪幕板の裏面上側にある爪を、⑥上レールの爪に引掛けます。
- 幕板を下向きに引いて仮保持状態が確認できたら、下側をパチッと音が鳴るまで押し込みます。
- 幕板の下側をレールの端から端まで押し込み、浮いている箇所がないことを確認します。



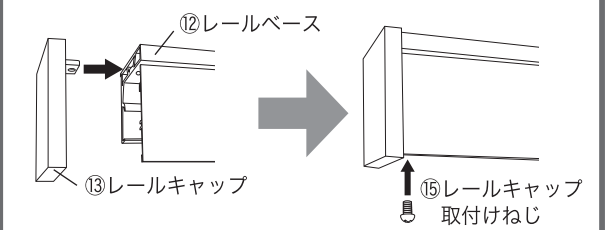
幕板の取外し

幕板の下側をつまんで、強めに下向きに引っ張りながら手前へ起こすと外れます。



8 レールキャップの取付け

⑬レールキャップを図のように⑫レールベースへ差込んで、⑮レールキャップ取付けねじで下から固定します。



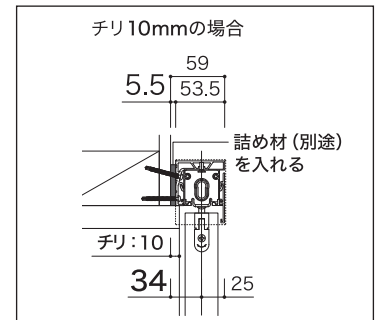
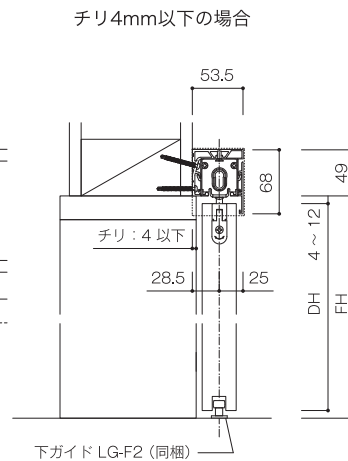
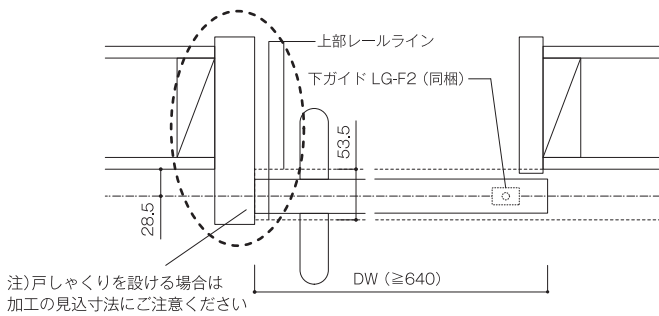
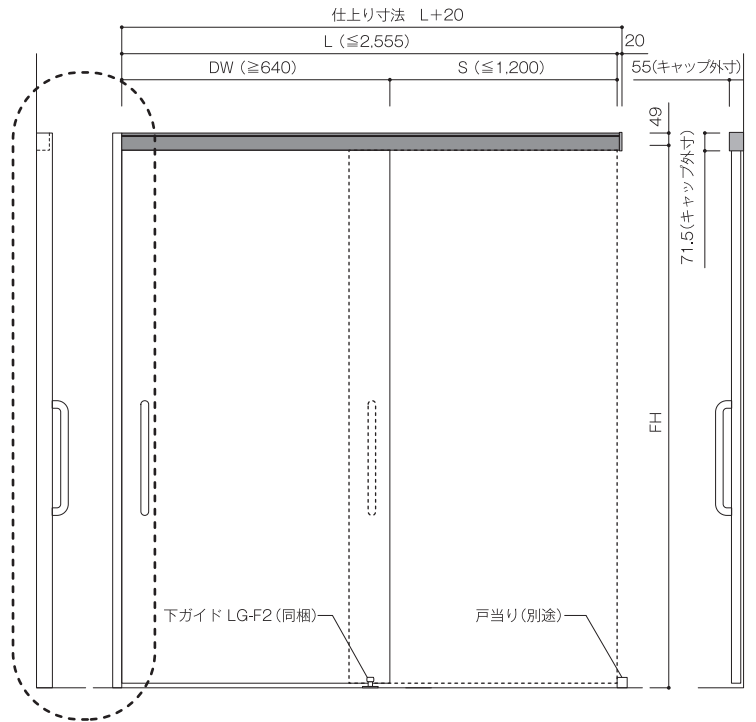
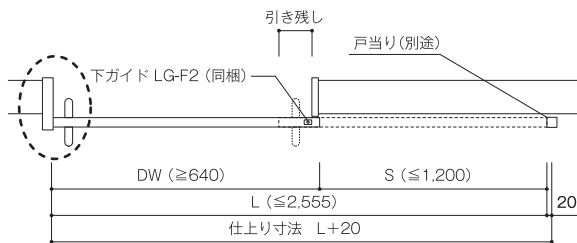
注意: 施工完了後、戸の下部に必ず戸当り(別途)を設置してください。

● RCC-O RCC-OT 参考納まり図 2 (戸先枠あり)

戸先側に縦枠がある場合

図のように、戸先側の納まりが標準とは異なる場合には、⑫レールベースをカットする要領が変わります。

施工説明書の手順①で行う戸尻側の長さカットとは別に、戸先側にもカットが必要です。内容は裏面をご覧ください。



※チリ:壁面からの枠の出寸法

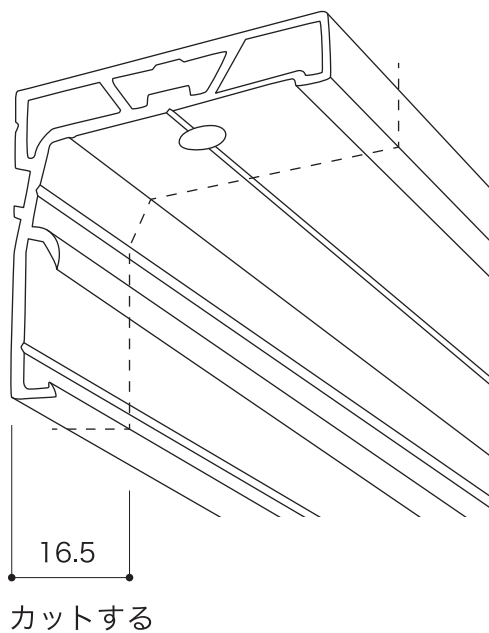
戸先側のカット

⑫ レールベースの戸先側16.5mmを切り落とします。

⚠ 注意: 戸尻側の長さカットとは別で行ってください。
片側だけでカットすると、上レールを固定する
孔位置がずれてしまいます。

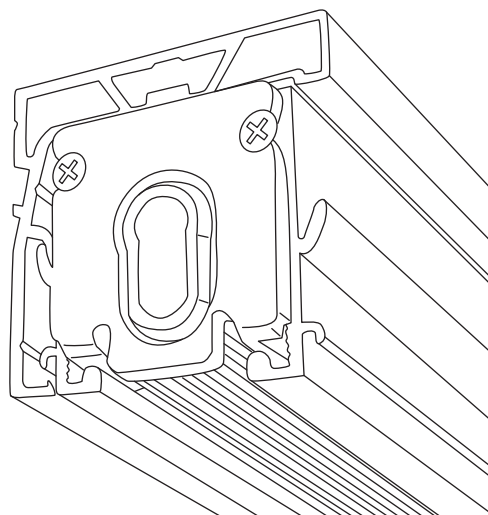
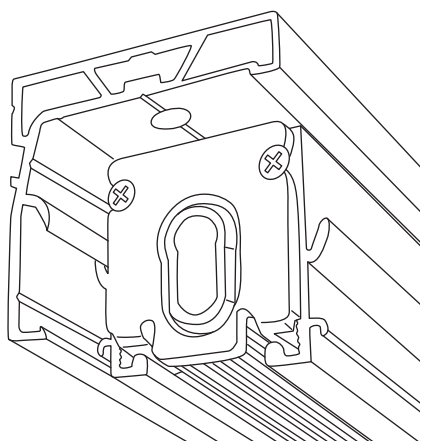
※⑪ 幕板はレールベースのカット後、
同じ長さにカットします。

※戸先側の⑬ レールキャップは使用しません。



上レール取付後

参考: 標準納まりの場合



レールベースと上レールの
端が揃います。